

令和3年2月8日

文部科学省 ご担当者様

生物科学会連合
代表 小林武彦

若手研究者育成のための大学院生を中心とした支援の要望

これまでさまざまな場面で若手研究者の育成の必要性が示されてきております。過去の若手研究者への支援により、効果は上がってきておりますが、大学院進学率の低下に歯止めがかかっておりません。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は経済状況を悪化させることが予測されており、これまでの施策をさらに強化していく必要性があります。よって、以下の二点について要望いたします。

1. 大学院進学者、特に博士課程進学者に対する学費および生活費の支援
2. 大学院進学者に対する学位のための研究費の支援

1. 大学院進学者、特に博士課程進学者に対する学費および生活費の支援

日本の高等教育進学について、18歳人口122万人に学士課程入学者61.9万人（留学生含む）で、約51%となりOECD平均62%を下回っています。修士課程入学者7.3万人（うち社会人0.8万人）は、社会人を除くと22歳人口と比較して5.5%で横ばい状態です。また、博士課程入学者1.5万人（うち社会人0.6万人）は、社会人を除くと24歳人口と比較して0.7%と減少傾向が続いています。結果として、人口に占める修士・博士号取得者数が世界的に見ても低く、さらにはこの割合が低下しているのは日本のみとなっています^{1,2)}。

今回の新型コロナウイルス感染症のような予期せぬ問題が起きた際には、状況を的確に判断し、解決を目指す方策を立案して実行する人物が求められます。

すなわち、論理的な思考を涵養する大学院教育の必要性は明確であり、大学院進学者を増加させる必要があります。

現在の大学院進学への阻害要因は、大学院課程における経済的支援が少ないこと³⁾、課程修了後の雇用状況、環境、条件が不明であることです。すなわち、現在の COVID-19 の感染拡大による経済状態の悪化によって、進学断念、継続の困難を招く可能性が高くなります。よって、大学院進学者に対する授業料や生活費の支援の充実は喫緊の課題と考えられます。

1) 大学院の現状を示す基本的なデータ 中央教育審議会大学分科会 大学院部会(第 81 回)
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/giji/_icsFiles/afieldfile/2017/07/24/1386653_05.pdf

2) 学位取得者の国際比較
https://www.nistep.go.jp/sti_indicator/2018/RM274_35.html

3) 「緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査結果報告」 男女共同参画学協会連絡会
https://www.djrenrakukai.org/doc_pdf/2020/survey_covid-19/report.pdf

2. 大学院進学者に対する学位のための研究費の支援

これまで日本における大学を中心とした研究機関における研究資金は、運営費交付金と競争的研究資金によるデュアルサポートシステムによって支えられてきました。しかしながら、国立大学法人化後の運営費交付金の減少により、各研究機関の裁量経費が減少しています⁴⁾。指導教員である研究者は、大学院学生の研究費に充てていた運営費交付金の減少分を競争的研究費の獲得で補完しようとしていますが、競争的研究費を獲得できない場合には大学院生の研究費が捻出できない状況に追い込まれます。さらには、このような状況下にあると、より結果を出しやすく、研究費を獲得しやすい研究によって競争的資金やプロジェクト型資金の獲得を目指す傾向が強くなります。これにより、研究の多様性が失われつつある、もしくは失われているとも考えられます。これらは、大学院生の研究費がない、大学院生を短期的な目標を持つ研究に従事させる可能性が強くなるという問題へとつながりかねません。独立した研究者を育成するには、新たな研究分野を開拓する能力を醸成する必要があります。そのためには、

時間をかけた思考と予備研究が行える環境が必要です。日本学術振興会の特別研究員制度や一部の民間の奨学金制度の中に大学院生の研究費は含まれていますが、いずれも採用数は限られています。また、大学院生には科学研究費への申請資格はなく⁵⁾、よって、大学院生の研究費を支援する方策を検討する必要があります。

4) 総合科学技術・イノベーション会議 第4回 基本計画専門調査会 H27.3.19

<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kihon5/4kai/siryo1.pdf>

5) 第6期科学技術基本計画に向けた科研費の改善・充実について（中間まとめ）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/045/1413368_00002.htm